

# 日照不足・低温に関する農作物等の当面の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

8月上中旬の天候は、中通りや浜通りを中心に日照不足・低温で推移しました。

8月23日ころから気温が高くなり日照も回復してきていますが、これから収穫を迎える農作物等の管理に万全を期すためにも、以下の事項に留意してください。

## 【共通事項】

- (1) 適期防除の徹底  
今後の天候の推移に十分に注意し、ほ場の観察を定期的に行い、適期防除に努める。
- (2) 排水対策の徹底  
排水溝（明きよ）の再整備を行い、排水対策を徹底する。

## 1 水 稲

- (1) 登熟の向上を図るため、出穂後30日間は、落水せず間断かんがいを実施する。

## 2 園芸作物

- (1) 野菜・花き
  - ア 草勢の維持  
草勢をよく観察し、天候が回復してから追肥を行う。なお、その場合は窒素過多とならないよう、窒素分量を加減する。
  - イ 適期防除  
特に露地栽培のきゅうりやピーマン等は、べと病、つる枯病、炭そ病等、キクでは白さび病、リンドウでは葉枯病や褐斑病等の発生に注意し、適期防除に努める。  
トルコギキョウでは早めの摘蕾に努める。
- (2) 果 樹
  - ア 適正な着果管理  
りんごやなしの中晩生品種等では、果実肥大や樹勢に応じて修正摘果を実施する。
  - イ 果実の着色促進  
支柱立て等により樹冠内部の日当たりを確保するとともに、反射シート等を設置する。
  - ウ 適期収穫  
果肉熟度の進みに注意しながら、品種毎の収穫基準に従い計画的に収穫する。
  - エ 適期防除  
各地域の防除指針（防除暦）に基づき、天気予報に注意して、散布間隔が空かないようにしながら適期防除に努める。

## 3 飼料作物

牧草と飼料用とうもろこしは、排水対策の徹底と適期の収穫調製に努める。  
現在収穫期の稲WC Sは、乳酸菌を添加するなど品質向上に努める。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>